



参考プログラム

魚つり

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

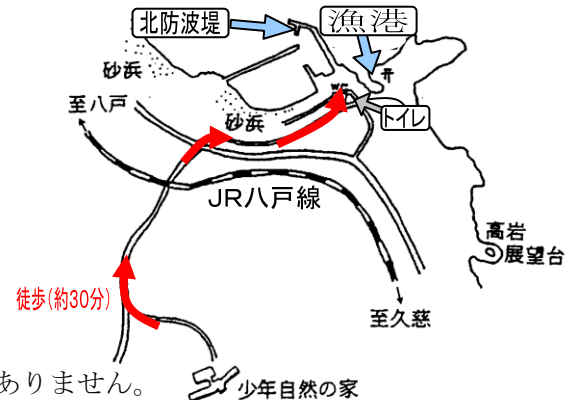
自分でつりのしかけをつくり、八戸南浜漁港(種差・法師浜地区)でつりを楽しみます。

1 ねらい

つりを楽しみながら海の生き物について考え、生き物の不思議と自然の大切さを知ること、生命を尊重する心を育みます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 旧種差漁港 (15人程度活動可能)
北防波堤 (100人程度活動可能)
- ② 期間 5月～10月
- ③ 時間 3～6時間



3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	<ul style="list-style-type: none"> ・厚紙または段ボール紙 (5cm×10cm程度) ・トイレットペーパー ・緊急車両 ・しかけ (糸、針、おもり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・しかけ巻用 ・トイレットペーパーはありません
個人	<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動に適した服装 ※必要に応じて雨具 	
自然の家	<ul style="list-style-type: none"> ☆無線機と救助ロープ ☆ライフジャケット ・つり竿 (道糸) ・ひも付きバケツ ・クーラーボックス 	<ul style="list-style-type: none"> ☆必ず持って行ってもらいます。 ☆全員着用してもらいます。 ・100本まで

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 ・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。
安全管理係	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の確認と安全管理をする。
救護係	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の救護、搬送にあたる。

6 活動の流れ

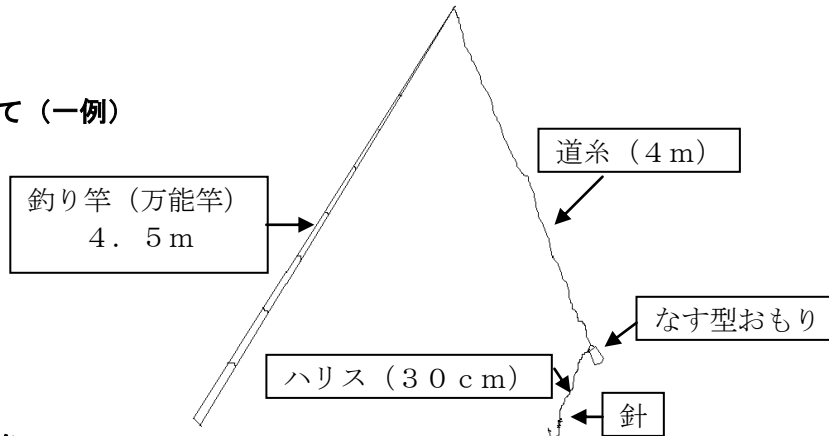
- ① ライフジャケット・物品の借用、移動
- ② 活動説明 (代表責任者)
- ③ つり
- ④ 採取後観察・生物を海へ返す
- ⑤ まとめ・移動
- ⑥ 自然の家で物品を洗って返却

7 その他

- ・ プログラムの実施にあたっては、安全確保のため海や現地の様子など、十分な事前踏査が必要です。
- ・ 潮汐表で潮の状態を確認してください。満ち潮の時は活動に適しています。
- ・ ライフジャケットは正しく装着してください。
- ・ 漁港・防波堤では走り回ったり、岩場を上ったりしないでください。
- ・ 地震があった際には、速やかに避難をしてください。
- ・ 天候が悪くなってきた時は、無理をせず活動を中止してください。

《資料》

1 しかけについて (一例)



2 月別の釣れる魚について

- 5月・ 6月 …アイナメ、カレイ、ウミタナゴ
7月・ 8月 } …アイナメ、トクチ、カレイ、ウミタナゴ、フグ (小)、タラ (小)
9月・ 10月 }

3 注意すること

- ・ 竿をたたむときは、手元から順にたたみます (先からたたむと折れる場合があります)。
- ・ 厚紙または段ボール紙は、しかけを片付けるときに使うので、人数分用意した方がよいです。



アイナメ



ウミタナゴ